

外交

1. ヒル外相の訪米

10日、ヒル外相は、一時的被保護資格（TPS）を持つ在米エルサルバドル人コミュニティのための永続的解決策を求め、ワシントンD.C.に赴き、ポンペオ米国国務長官及びマカリーナン米国土安全保障長官代行をはじめ同国政府高官との会談を行った。同会談では、エルサルバドル・米国二国間の緊密な関係が強調された。両国国民への発展と福祉をもたらすため、そして不法移民を強いられる状況に陥ることを防ぐため、両国間の協力が重要となる旨話し合われた。

2. マカリーナン米国土安全保障長官代行のエルサルバドル訪問

16日及び17日、マカリーナン米国土安全保障長官代行はエルサルバドル政府関係者と会合し、中米の治安担当閣僚会合に出席するため、エルサルバドルを訪問した。治安担当閣僚会合は、米国土安全保障省の主導により、地域の不法移民対策、及び、グアテマラ、ホンジュラス及びエルサルバドルの国境警備に関する議題を扱うことを主要目的としたものであり、エルサルバドルのロヘリオ・リバス司法・公共治安大臣、ホンジュラスのパチェコ治安大臣、グアテマラのデゲンハルト内務大臣及び政府関係者が出席した。マカリーナン長官代行及び各国代表は、移民問題における各国の取り組みの主要な進捗について説明し、国境警備のための地域レベルの取組のための戦略、及び、国境を超えた犯罪組織への対応について話し合った。

3. ウジョア副大統領の訪日

21日から23日、天皇陛下の即位礼に出席するために、ウジョア副大統領がエルサルバドルを代表して訪日した。

4. TPSの延長

28日、ブケレ大統領がジョンソン在エルサルバドル米国大使とともに米国政府が2020年1月4日に期限切れを迎える予定であった一時的被保護資格（TPS）を1年間延長することを決定した旨発表したことを伝える動画が、ブケレ大統領のフェイスブックに掲載された。本決定により、エルサルバドル人TPS受益者は、1年間延長して米国に居住し、労働する権利を得ることになる。また、対象となるエルサルバドル人に対し、2020年半ばに期待される（TPS問題に関する）司法判決後、移行期間が与えられることになる。

5. チャン米筆頭国務次官補代理（西半球担当）のエルサルバドル訪問

28日から30日にかけてエルサルバドルを訪問したチャン米筆頭国務次官補代理（西半球担当）は、ラゴス外務次官（国際協力担当）、ベネケ外務次官（統合及び経済促進担当）、コルレト経済次官

と会談した。

チャン次官補代理は記者会見を開き、米国はかつて無いほどエルサルバドルにコミットしている一方で、エルサルバドル政府関係者に対し、中国が台湾を国際場裏から排除するために行っている各国に対する圧力に関する警告を行った旨述べ、エルサルバドルが昨年中国と外交関係を樹立したことは承知しているが、エルサルバドル政府及び国民に対し、台湾との関係を維持するよう呼びかけた。その上で、ブケレ政権の決断を尊重する考えである旨述べた。

1. メキシコとの協力プロジェクト

(1) 1日、フエンテス・エルサルバドル財務大臣及びカリージョ・メキシコ国際開発庁 (AMEXCID) 局長は、2つの戦略的プロジェクトである「生命の種まき (Sembrando Vida)」プロジェクト及び「若者が未来をつくる (Jóvenes Construyendo el Futuro)」プロジェクトの推進に向けた無償資金供与3,100万ドルに関する契約書への署名を行った。

(2) 「若者が未来をつくる」プロジェクトは、18歳から29歳の若者数千人に対し、職業訓練を実施し、収入のない若者に雇用機会を与えることで移民することを防ぐことを目的とする。エルサルバドル政府は、対象の若者に対し、同訓練を行うにあたり、毎月250ドルの奨学金を1年間にわたって与える予定である。

(3) 両プロジェクトには、国立農牧森林技術開発センター (GENTA) を通じて当国農牧省が携わっており、そのほか、社会組織再建局及び青年庁 (INJUVE) 等も協力する。

2. 米国への一時的労働ビザ資格ポータルサイトの開設

(1) 2日、エルサルバドル労働省は米国への一時的労働ビザ資格取得にかかる申請が可能となるポータルサイトの開設を発表した。同労働ビザの種類は「H-2A」に分類され、農業分野における就労のために一時的に渡米する外国人労働者を米国雇用主が雇用するためのものである。

(2) 米国アリゾナ州の企業がエルサルバドル人を労働者として雇用することに興味を示しており、雇用期間は10ヶ月までを見込んでいる。

(3) カストロ・エルサルバドル労働大臣は、アリゾナ州商工会議所との会議において、雇用開始に向けた詳細の決定を本年中に行うと述べた。アリゾナ州は農産物の生産に長けていることから、当国からの最初の労働者派遣先となる予定であり、初回派遣人数約6,000人を見込んでいる。

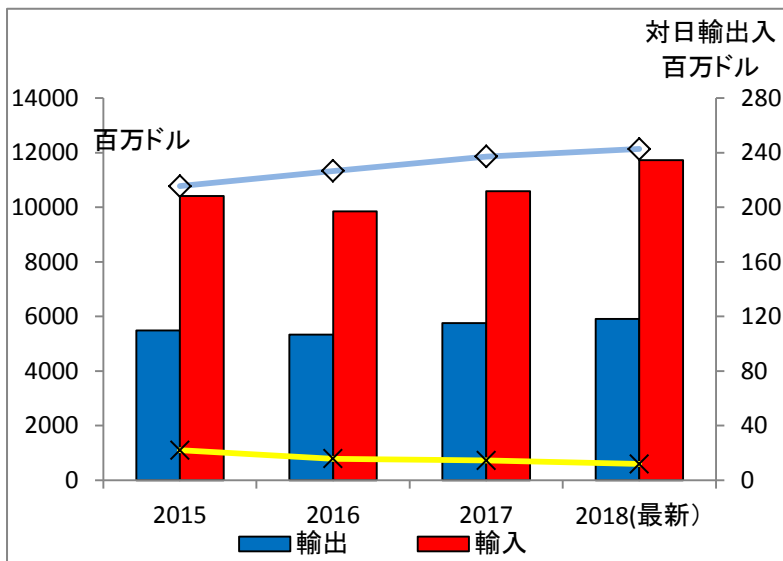
3. 国家文民警察及び陸軍への賞与支払いに関する国会承認

3日、犯罪地域コントロール計画 (el Plan de Control Territorial) に関与する組織への国家予算21,483,250ドルの支出に関し、当国国会において賛成77票で可決され、財務省からの要請内容の承認がなされた。右資金は、当国の治安対策特別税 (CESC) が財源となっており、国家文民警察 (PNC)、エルサルバドル陸軍 (la Fuerza Armada) 及び刑務所監視員に対する三ヶ月ごとの賞与に充てられる。

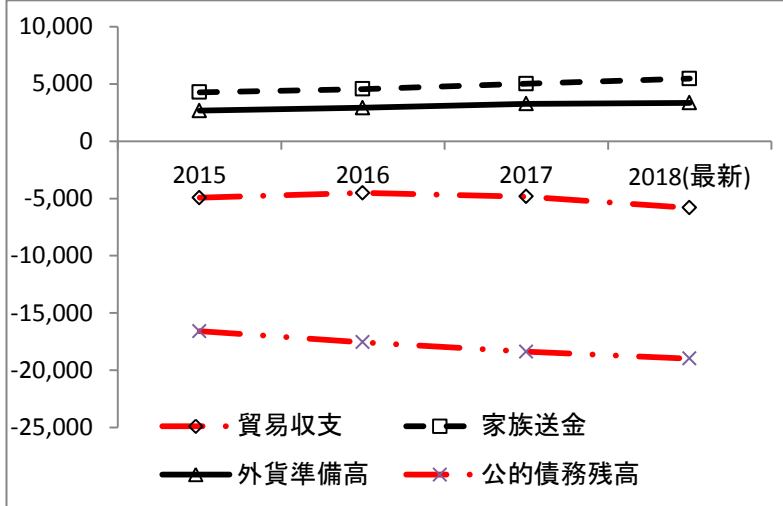
4. 中国による国家市民保護局 (Protección Civil) への20万ドル供与

(1) 在エルサルバドル中国大使館は、エルサルバドルにおける自然災害危機に備え、国家市民保護局 (Protección Civil) の活動を広げることを目的とし、20万ドルの供与を行った。

(2) 同供与により、国家市民保護局は1台あたり2万ドルの新車四輪駆動7台を購入でき、貯水ポンプ6台、発電機6台、100ヤード分のゴミ袋26ロール、チェーンソー10台、ヘッドランプ、その他災害対応能力を強化するためのものが導入される。

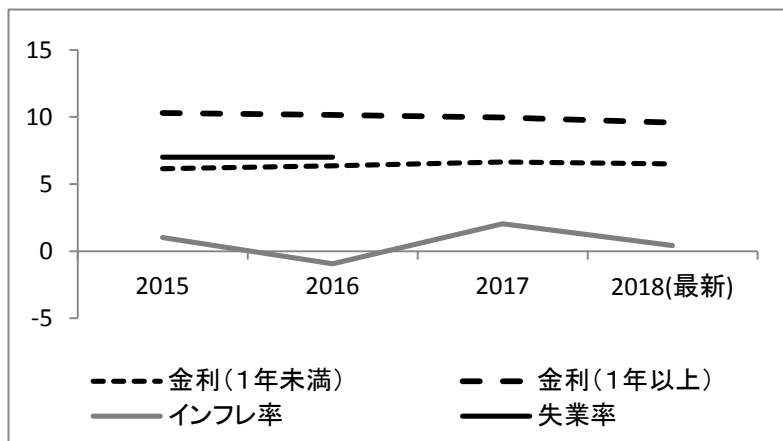


・ 2018 年の輸出額は 59 億 447 万ドルとなり、前年比で 2.5%増加した。輸入額は 117 億 2580 万ドルとなり、前年比で 8.7%増加。



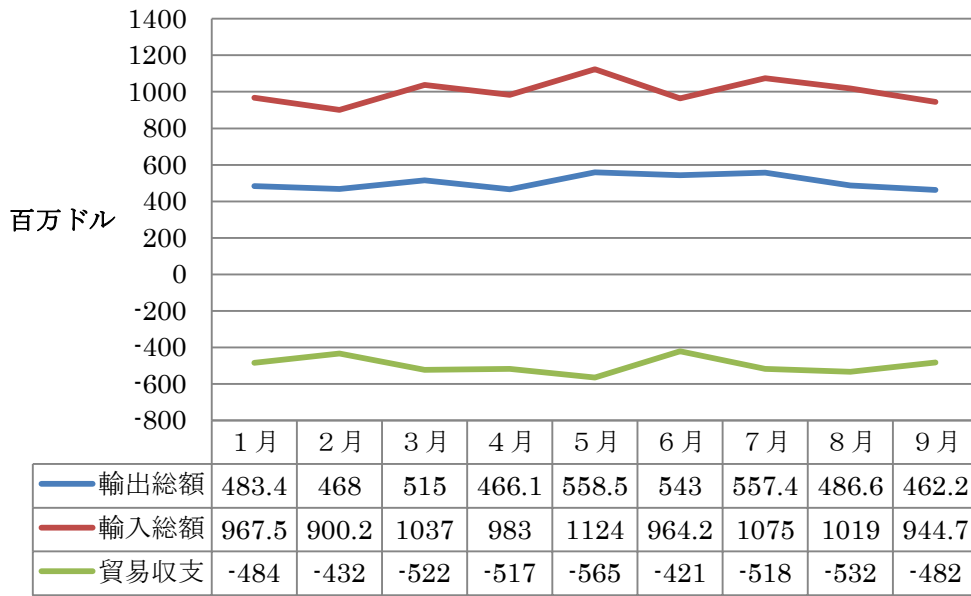
・ 2018 年家族送金額は 54 億 8,210 万ドルとなり、過去最高額を記録。その内、米国からの送金は全体の 93%を占めていた。

・ 貿易収支は -58 億 2,134 万ドルとなり、貿易赤字は前年比で 20.5%増加した。



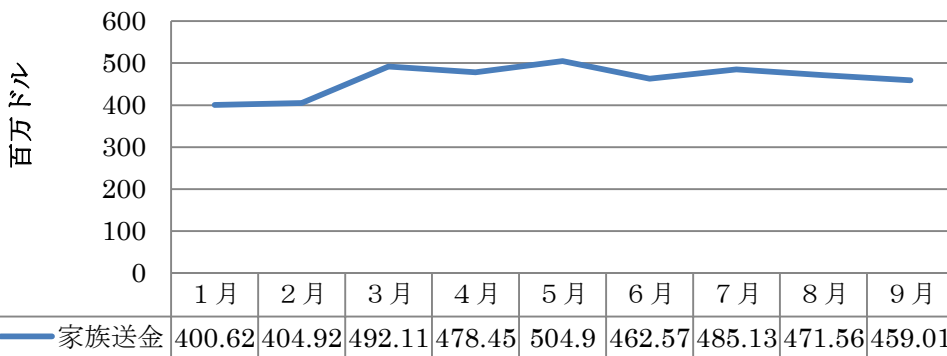
2018 年のインフレ率は 0.43%となり、前年と比較し、1.61 ポイント減少した。

2019年1月から9月までの輸出入額及び貿易収支額



(当国中銀プレスリリースをもとに作成)

2019年1月から9月までの家族送金額



(当国中銀プレスリリースをもとに作成)

治安

【主要事件・報道】

1. 米国政府のエルサルバドル渡航危険レベル引き下げ

10月1日、米国国務省は、エルサルバドルへの渡航危険情報を、これまでのレベル3からレベル2に引き下げた。

現在、当国はスペイン、イギリス、中国、イスラエル、コロンビア等と同等のレベル2となっている。

2. エルサルバドル治安情勢（フネス元大統領政権時代に行われたギャングとの契約について：報道）

10月10日付、当地主要紙エル・ディアリオ・オイ紙は、フネス元大統領がギャングとの間で殺人件数を減少させる取り決めを結んだことにつき、元ギャングのリーダーが証言している旨を報じた。取引に際して、政府側からは殺人事件数の減少、刑務所内や地域における犯罪行為の統制を求め、その見返りとしてフネス元大統領、ムングイア元防衛長官らの決定により、ギャングのリーダーらをサカテコルカ刑務所から比較的警戒が緩い他の刑務所に移送させた。またファラブンド・マルティ民族解放戦線（FMLN）は、2014年の大統領選挙の際にも、ギャング内の有権者からの票獲得のため、ギャングに対して131,500米ドルを6回に分けて渡しており、国民共和同盟党（ARENA）も2015年の選挙の際、ギャング組織に対して69,000米ドルを支払った。

3. エルサルバドル天災情報（当国政府による大雨注意警報の発令：プレスリリース、報道）

10月14日、国家市民保護局は、低気圧の影響による大雨に関して全国レベルで大雨注意警報を発令した。政府機関プレスリリース国家市民保護局によるとエルサルバドル上空の低気圧による大雨により、土砂崩れ、河川の氾濫、倒木等の危険が迫っているとして、全国レベルで黄色警報（ATENCION）を発令。また沿岸地域および火山地帯の一部には、一段高い脅威度のオレンジ色警報（PREPARACION）を発令した。本件に関して教育省からは学校の授業停止が宣言された。

（参考）当国の大雨注意警報レベルの分類

赤 : TOMAR ACCION（避難指示）

オレンジ : PREPARACION（避難準備）

黄色 : ATENCION（注意）

緑 : VIGILANCIA（警戒）

当地主要紙の報道では、この雨の影響による死者は全国で4人で、加えて各地で地滑り、落石、倒木等の発生が報告された（詳細な件数に関しては報じられていない）。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

10月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

	窃盗	強盗	傷害	殺人	恐喝	車両 盗難	車両 強盗	強姦	交通 事故死	配送車 盗難強盗	誘拐
2019年8月	660	243	339	131	170	69	33	198	107	1	0
2019年9月	619	264	315	143	151	72	29	205	93	5	0

過去3年間同時期の犯罪件数推移

